

こども政策フレーム～少子化対策（若い世代の希望を かなえる取組）の強化～

●こども政策フレームの方向性と4つの柱

近年、出生数の減少幅が拡大しており、少子化のスピードが加速していることから、本市がこれまで進めてきた少子化対策をさらに強化する必要がある。若者・子育て世代が希望する結婚・妊娠・出産がかなうように必要な支援を行うとともに、ゆとり（家計、心理、時間）がもてるように総合的な支援策を講じる。

希望する結婚・妊娠・出産がかない、
子育てにゆとりが持てる

安心して子育てができる
環境をつくる

子どもの発達を継続的に
支援する

子どもの貧困の連鎖を断つ

若い世代の（結婚）希望をかなえる取組を強化・充実！！

若い世代の未来応援パッケージ

総額：1,406,696千円
（予算事業費の合算）

☆ライフデザインに関する情報発信

【結婚前後】

- ☆マッチングアプリへの理解醸成、出会いの場の創出に取り組む。
- ★デートスポットの紹介、奨学金返済支援に取り組む。
- ・子育て支援企業応援奨励金の支給、リスキリング人材育成セミナーの開催、金融機関と連携した住宅ローンの金利優遇などに取り組む。

【子育て期】

- ☆こども食堂の運営補助、多様な働き方の推進、遠方への妊婦健診時等にかかる交通費支援（ハイリスク妊婦等）、1か月児健康診査の費用助成に取り組む。
- ★妊婦健康診査公費負担額の拡充、教育・保育の質の向上と量の確保、給食費の補助に取り組む。
- ・子育て支援企業応援奨励金や産後パパ育児休取得応援交付金の支給、妊婦等包括相談支援及び給付金などに取り組む。

☆若い世代からの事業提案を拾い上げる

☆新たな取組 ★拡充する取組 ・既存の取組

若い世代の未来応援パッケージ

【総額：1,405,794千円】※予算事業費の合算
令和7年度当初予算〔当初〕1,189,715千円
令和7年3月補正予算〔3補〕216,079千円

【基本的な方向性】

- 若い世代の（結婚）希望をかなえる姿勢で臨むとともに、少子化の主要因となる未婚化を焦点にした結婚前後における施策に加え、子育て期にも対応した施策を展開します。
- また、現実的な将来を見通せるよう、ライフデザインに関する情報発信に取り組みます。さらに、施策の継続的な強化に向けて、若い世代の声を施策に反映する仕組みを組み込むことで、施策の継続的な底上げを図り、その効果を高めます。
- これらの施策は、既存の子ども政策フレームにおける各施策や（仮称）こども計画とも合わせて展開し、総合的な政策パッケージとして取り組みます。

☆新たな取組 ★拡充する取組 ・既存の取組

ライフデザインに関する情報発信

☆実際の暮らし・生活モデルの提示

★平塚での子育てのしやすさをPR〔当初〕

・多様な生き方について考える授業〔当初〕

・将来の妊娠・出産に向けた情報発信

【結婚前後】

☆マッチングアプリに対する理解醸成

☆恋カナ！プロジェクト

★出会いの場に対する名義後援

★ひらつか LaLa ぽた

★奨学金返済支援〔当初〕

・金融機関と連携した住宅ローンの金利優遇と施策紹介

・子育て支援企業応援奨励金、リスキリング人材育成セミナー〔当初〕

・不妊治療（先進医療）費助成〔当初〕

・高等学校等修学支援事業〔当初〕

【子育て期】

☆こども食堂の運営補助〔3補〕

☆企業の求人サイト改善を通じた多様な働き方の推進〔当初〕

☆遠方への妊婦健診時等にかかる交通費支援（ハイリスク妊婦等）、1か月児健康診査の費用助成〔当初〕

★妊婦健康診査公費負担額の拡充〔当初〕

★教育・保育の質の向上と量の確保〔当初〕

★小中学校、保育園・幼稚園の給食費補助〔3補〕

・産後パパ育休取得応援交付金、妊婦等包括相談支援及び給付金〔当初〕

・子育て支援企業応援奨励金〔当初〕

「若い世代からの事業提案」

企業の若手の方々との意見交換の場を設けて結婚支援策の提案を拾い上げる

※市ホームページのメインビジュアルで優先的にPRします。